

# 議会 だより

こがし  
古河市



第 78 号

令和 5 年 12 月 1 日  
編集／議会だより編集委員会  
発行／古河市議会  
ホームページ

古河市議会

検索



冷たい雨の中、見事準優勝した古河市消防団代表の第 12・13 分団（消防ポンプ操法県西大会）

## 令和 5 年 第 3 回定例会 開催

第 3 回定例会は 8 月 31 日から 9 月 15 日までの会期 16 日間で開かれ、認定 1 件、報告 11 件、議案 23 件、決算認定 13 件について審議しました。9 月 7 日、8 日の 2 日間にわたり、一般会計決算特別委員会において一般会計を審査し、9 月 11 日の特別会計・企業会計決算特別委員会において、10 特別会計および水道事業会計、下水道事業会計の決算を審査しました。

一般質問は 9 月 12 日、13 日、14 日の 3 日間行われ 12 名の議員が登壇しました。また、最終日に議員提出議案 1 件が追加されました。請願 3 件、陳情 2 件については、4 ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。

## 令和5年第3回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
認定第6号	令和5年度古河市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	5.8.31	承認
議案第64号	古河市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に係る固定資産税の特例に関する条例の制定について	5.9.15	原案可決
議案第65号	古河市三和農村環境改善センターの設置及び管理等に関する条例等の一部改正について	5.9.15	原案可決
議案第66号	古河市三和ふるさとの森条例の一部改正について	5.9.15	原案可決
議案第67号	古河市ネーブルパーク条例の一部改正について	5.9.15	原案可決
議案第68号	古河市生涯学習センター総和の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	5.9.15	原案可決
議案第69号	古河市立博物館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	5.9.15	原案可決
議案第70号	古河市古河市民球場の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	5.9.15	原案可決
議案第71号	古河市立学校体育施設の開放に関する条例の一部改正について	5.9.15	原案可決
議案第72号	古河市立第三保育所長寿命化工事請負契約締結について	5.9.15	原案可決
議案第73号	市道の路線廃止について	5.9.15	原案可決
議案第74号	市道の路線認定について	5.9.15	原案可決
議案第75号	令和4年度古河市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	5.9.15	原案可決
議案第76号	令和4年度古河市下水道事業会計資本剰余金の処分について	5.9.15	原案可決
議案第77号	令和5年度古河市一般会計補正予算（第4号）	5.9.15	原案可決
議案第78号	令和5年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決
議案第79号	令和5年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決
議案第80号	令和5年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決
議案第81号	令和5年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決
議案第82号	令和5年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第83号	令和5年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決
議案第84号	令和5年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決
議案第85号	令和5年度古河市水道事業会計補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決
議案第86号	令和5年度古河市下水道事業会計補正予算（第1号）	5.9.15	原案可決
認定第7号	令和4年度古河市一般会計歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第8号	令和4年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第9号	令和4年度古河市国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第10号	令和4年度古河市古河福祉の森診療所特別会計歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第11号	令和4年度古河市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第12号	令和4年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第13号	令和4年度古河市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第14号	令和4年度古河市ゴルフ場事業特別会計歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第15号	令和4年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第16号	令和4年度古河市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第17号	令和4年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	5.9.15	認定
認定第18号	令和4年度古河市水道事業会計決算認定について	5.9.15	認定
認定第19号	令和4年度古河市下水道事業会計決算認定について	5.9.15	認定
議員提出 議案第2号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	5.9.15	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願・陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和5年 請願第4号	ぐるりん号の運行改善の請願	総務常任委員会	不採択
令和5年 請願第5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	文教厚生常任委員会	採 択
令和5年 請願第6号	「消費税インボイス制度の実施中止」の意見書を国に求める請願書	総務常任委員会	不採択
令和5年 陳情第4号	子育て拠点施設西側敷地に関する陳情	文教厚生常任委員会	不採択
令和5年 陳情第8号	身内の不幸に、物体や動物扱いの「死体埋葬許可証」を人格尊重の「御遺体納骨許可証」に名称変更陳情書	文教厚生常任委員会	不採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市公明党			市民ベースの会				真政会			無党派								
	佐藤 泉	小森谷博之	鈴木 務	小林登美子	印出 慎也	赤坂 育男	鈴木 隆	渡邊 澄夫	高橋 秀彰	佐藤 稔	轟見久美子	佐々木英徳	増田 悟	落合 康之	阿久津佳子	立川 徹	佐々木里加	関口 和男	黒川 輝男	園部 増治	青木 和夫	稲葉 貴大	古川 一美	秋庭 繁
議案第64号			○			-	○		○			×				○			○				○	×
認定第7号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第8号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第11号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第12号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第13号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第14号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第15号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第17号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第18号			○			-	○		○							○			○				○	×
認定第19号			○			-	○		○							○			○				○	×
令和5年 請願第4号			×			-	×		×			×				○			×				×	○
令和5年 請願第6号			×			-	×		×				○			×		○	×				○	○
令和5年 陳情第8号			×			-	×		×				○			×			×				○	○

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

# 令和4年度 各会計決算

9月7日、8日、11日の3日間にわたり、正副議長および議会選出監査委員を除いた全議員が一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会に分かれ、一般会計、10特別会計および水道事業会計・下水道事業会計の決算を審査しました。

## 各会計の決算額

単位：円

		認定番号	令和4年度 歳入決算額	令和4年度 歳出決算額
一般会計		第7号	58,061,900,143	55,055,290,267
特別 会計	国民健康保険(事業勘定)	第8号	13,765,513,442	13,765,512,505
	国民健康保険(直診勘定)	第9号	38,029,471	38,029,471
	古河福祉の森診療所	第10号	122,518,810	121,391,017
	後期高齢者医療	第11号	1,745,169,675	1,743,952,115
	介護保険(保険事業勘定)	第12号	11,004,461,541	10,728,845,736
	農業集落排水事業	第13号	868,444,275	850,654,528
	ゴルフ場事業	第14号	98,418,108	94,865,547
	古河駅東部土地区画整理事業	第15号	1,245,279,194	1,194,557,899
	公共用地先行取得	第16号	14,235,015	14,235,015
	仁連地区新産業用地開発事業	第17号	182,263,513	171,812,100

## 水道事業会計

単位：円

認定第18号	令和4年度決算額
収益的収入	2,755,150,776
収益的支出	2,353,914,269
資本的収入	550,869,645
資本的支出	1,384,950,399

## 下水道事業会計

単位：円

認定第19号	令和4年度決算額
収益的収入	3,312,482,351
収益的支出	3,228,940,945
資本的収入	1,616,431,982
資本的支出	2,540,080,690

## 水道事業の概要

	令和4年度末
給水戸数	62,186戸
給水人口	137,450人
給水普及率	96.0%
給水量	16,629,968m <sup>3</sup>
有収水量	14,338,928m <sup>3</sup>
有収率	86.2%

## 下水道事業の概要

	令和4年度末
処理区域内戸数	39,640戸
処理区内人口	86,056人
普及率	61.2%
汚水処理水量	11,543,933m <sup>3</sup>
有収水量	7,957,481m <sup>3</sup>
有収率	68.9%

# 令和4年度決算に対する各会派の意見

## 政友会

一般会計の予算執行率は、93.7%で昨年93.8%をほぼ維持したことは評価できる。シティブランディングの実施、新型コロナの自宅療養者への食料品無償提供、市内運送事業者への最大50万円の支援等を実施しており、今後も積極的な施策展開を期待する。

佐藤 泉	小森谷博之
鈴木 務	小林登美子
印出 慎也	赤坂 育男
鈴木 隆	渡邊 澄夫

## 古河市公明党

コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、一般会計の実質収支は26億3,994万円の黒字である。実質公債費比率、将来負担比率ともに健全段階を維持しており財政の健全化は順調と言える。今後も市民ニーズに呼応した街づくりを目指し、賢明な市政運営を望む。

高橋 秀彰	佐藤 稔
靄見久美子	佐々木英徳

## 市民ベースの会

監査委員から予算執行および事業経営管理も良好とあるが、コロナ禍の影響を大いに受けた決算となった。少子高齢多死時代における庁舎内DX化と業務推進を図り、市民サービス向上と同時に、市民ニーズに応える事業の健全運営ができる新年度予算を望む。

増田 悟	落合 康之
阿久津佳子	立川 徹
佐々木里加	関口 和男

## 真政会

令和4年度一般会計、特別会計・企業会計決算は、おおむね良好に予算執行されていた。不納欠損額は昨年度より約880万円(7.7%)増となっており留意する必要がある。今後も市民が希望の持てる古河市を創るための施策展開のため、安定的な財源確保が必要である。

黒川 輝男	園部 増治
青木 和夫	稲葉 貴大

## 会派に属さない議員

健全な予算執行と評価できる。市民ニーズの高い生活道路の管理、公共交通の改善、健康寿命の延伸等の対策を今後一層求める。

古川 一美

監査委員から指摘された不用額24億円余りを基金に積み立てる反面、開発優先で子育て、福祉などを切り捨て、市民に冷たい決算に反対。

秋庭 繁

## 第3回定例会 一般質問

## 12名の議員が市政を問う



立川 徹 議員



## 市内の施設について

**問** ①古河ゴルフリンクスの利用状況、修繕計画について伺う。②リバーフィールド古河の利便性向上について伺う。③閉鎖された古河体育館のその後の活用について伺う。

**答（教育部長）** ①令和4年度の利用者は4万7,132人である。過去5年で42の修繕や工事を行っており、計画的な修繕を進

めたい。②河川敷に設置してある仮設トイレの改善が図れるよう、関係機関と協議を行う。③跡地利用に関する協議を行ったが、具体的な方針の決定はない。さまざまな視点で検討を続ける。



## 道の駅「まくらがの里こが」について

**問** 施設の利用状況、修繕計画、利便性向上について伺う。

**答（産業部長）** 県内居住者が約6割で、売り上げの7割は野菜

の直売である。修繕は随時対応し、長期修繕計画も検討している。大型遊具の設置、ウッドデッキの拡張、新メニューの開発などで魅力向上に努めている。

## ゼロカーボンシティ宣言脱炭素化社会の実現について

**問** 取り組み状況、課題について伺う。

**答（副市長）** 4月にカーボンニュートラル推進室を設置した。主な取り組みは、啓発活動として市内中学校にて講座を実施し、企業向けに、工業団地のグリーン化に向けたモデル事業を予定している。カーボンニュートラルへの取り組みは、情報等の的確な把握と、実行が課題である。

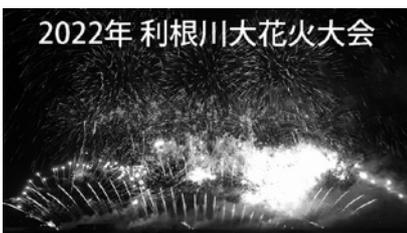


佐々木 里加 議員



## まちを活気づける「花火・盆踊り・マラソン大会」の中止と終了について

**問** ①古河花火大会の中止前に、全ての可能性を探ったか問う。



**答（市長）** 実施を前提に、規模や費用等いろいろな案を実行委

員会の中で提示したが、安全な開催が確保できなかった。

**問** ②古河盆踊り大会の終了について、経緯を問う。

**答（産業部長）** 観光協会と連携し準備を進めたが実施体制が整わず今後のめども立たなかった。

**問** ③63年の歴史がある、古河盆踊り大会の終了について、市長の考えを問う。

**答（市長）** やぐらの整備等に携わったこともあり、非常に残念。関係者に、感謝を申し上げる。

**問** ④古河はなももマラソン大会の終了について、どのような

経緯でその結論に至ったか問う。

**答（教育部長）** 今年の1月末にスポーツ大会から全て撤退すると、突然サンケイスポーツが発表した。新たな企業等を探すには、準備に約2年必要である。

**問** ⑤古河市に足を運んでもらうためのイベント事業と観光PR事業の今後について、具体的に集客のために工夫していく点を伺い、最後に、古河駅ホームにある古河市の巨大な宣伝看板が、焦げ茶色になり剥がれている状態について意見する。

**答（産業部長）** ポスターやパンフレット、ホームページ、SNS等を活用し、PRに努めたい。



阿久津 佳子 議員



## 市民サービス向上について

**問** 窓口での各種届出等手続きにおいて、市民サービス向上に業務DX<sup>(※)</sup>化が欠かせない。先進事例「ワンスオンリー（1回の手続き）・ワンストップ（1つの窓口で完結）サービス」の実証段階に入っている自治体がある。本市の次世代型行政サービスの実現、改革のスキーム、DX化に対する総論と進捗状況<sup>しんちよく</sup>について所見を伺う。

**答（企画政策部長）** ワンスオンリー、ワンストップ化は限られた職員での窓口運営には不可欠であり、課題として認識している。先行事例を研究しながら自治体情報システム標準化のスケジュールや自治体窓口のクラウド化等の動向を踏まえ、導入時期を検討していく。IT戦略プランの令和4年度の進捗は、当初計画した40の取り組みは全て着手できている。現行の状況に即して4つの取り組みを追加した。業務改善は進んでおり、引き続きDX推進に努めていく。



古河市役所 市民総合窓口

※DX…デジタルトランスフォーメーション（デジタル技術で社会や生活の形を変えること） ※訪問介護員…ホームヘルパー

## 障がいのある人への支援について

**問** 障がいのある人が安心して地域生活をする上で、訪問介護員<sup>(※)</sup>の担い手不足という深刻な課題がある。その解決策を伺う。

**答（市長）** 担い手不足解消に向け、県の第2期新しいばらき障害者プランでは人材確保、育成が明示されている。今後も県と協力し、障害福祉の現場が生きがいや働きがいのある魅力的な職場であることの周知に取り組んでいきたい。

**答（福祉部長）** 訪問介護の仕事内容が報酬と見合ったものでないことが原因と認識している。市単独では解決が難しいため、国県の動きを注視していく。



稲葉 貴大 議員



## (仮称) 古河市新公会堂について

**問** 文化施設の建設は、古河市民が大きな期待を寄せている。(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画の策定スケジュールと、開館までの期間短縮を模索するのかどうか、また、建設予定地について伺う。

**答（市長）** 市内の市街化区域ではある程度の面積を確保できる建設候補地が限られており、市街化調整区域内でも候補地を模

索している。現時点では明確な場所は示せないが、国県とも開発が可能な場所を調整している。

**答（企画政策部長）** 令和5年度から6年度にかけ計画を策定する。開館までの期間は(仮称)古河市新公会堂の整備に向けた検討報告書において、8年間としているが民間活力導入可能性調査により、PFI<sup>(※)</sup>等の事業手法が選択できた場合はスケジュールも変わってくると思われる。

## 古河市ブランド戦略について

**問** ブランド戦略は、業務委託し2年目だが、現在までの進捗状況と今後の取り組みについて、また、本事業の最終形をどのように考えているか伺う。

**答（副市長）** 暮らす市民が褒めるまちが形成され「華のある都市(まち)古河」の側面を担うことをゴールとする。市民が実感する市の魅力を集め発信し、移住・定住に結び付けたい。

**答（企画政策部長）** 市民意識調査を実施し、市の良いところを共有、共感するためのツールを揃えてきた。今後は市民が対外的に発信していくための取り組みをさらに広げ、継続していく。



古河市ブランド戦略ロゴマーク

## 《その他の質問》

・地域振興公社について

※PFI…民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して、公共施設等の建設、維持管理等を行う手法



印出 慎也 議員



## DXの推進について

**問** DXの推進により、市民の利便性がどのように向上したか伺う。また、市役所へ来庁した市民に向けてDXの取り組みが必要であると考えますが、市の見解を伺う。先進事例として土浦市を参考にし、利便性向上のために各庁舎へのモニター設置を提案するが、市の見解を伺う。

**答（市長）** DXにより庁舎間の連携を強化し利便性を高めるこ

とで、今後も市民に優しく、市民とのつながりを大切にしたデジタル化を目指していく。

つちうらリモートコンシェルジュ  
(土浦市)

**答（企画政策部長）** 来庁者向けの取り組みとして、おくやみサポートコーナーを導入しており、各庁舎ロビーには公共フリーWi-Fiの整備を進めている。書かない窓口やキャッシュレスの導入も進めていく予定である。オンライン対面窓口は市民サービス向上の点から検討すべきものとして認識している。モニター設置は、過去に市において

もテレビ電話システムを導入し、廃止した経緯があるため、もう少し研究していきたい。今後も市民のニーズを的確に把握しながらDXを推進していく。

## 市民の健康づくりの支援について

**問** たいじょうほうしん 带状疱疹について、市の認識を伺う。また、带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成すべきと考えるが、市の見解を伺う。

**答（健康推進部長）** 現在、国において定期接種化の検討を行っている。県市長会からも助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化の要望を国や県に行っており、引き続き国の動向を注視し、どのような支援が可能か検討していく。



小林 登美子 議員



## 地域生活支援拠点等の整備について

**問** 地域生活支援拠点はどのようなものか。緊急時の対応と今後の取り組みや展望について伺う。

**答（市長）** 障がいのある方に関わるあらゆる社会資源をつなぐ支援体制を構築していきたい。

**答（福祉部長）** 障がいのある方の高齢化、重度化、親亡き後を見据え生活を地域全体で支える体制づくりで、市では関係機関が一つのチームとなる体制を整

備している。緊急時は、登録情報に基づき障害福祉サービス事業所の短期入所等を支援する。



## 古河市ブランド戦略の推進状況について

**問** 戦略の現状とこれまで行ってきた戦略内容と進捗状況しんちよくについて伺う。また、今後の取り組みや展望を伺う。

**答（企画政策部長）** 意識調査の実施、ロゴマーク、ポスター、ブランドムービーの制作、ウェブサイト開設、ワークショップ等を行い市内でPRした。市民が自発的に活動できる仕掛け、

魅力を発信する仕組みをどう構築するかが重要と考えている。

## 市役所や事業所におけるハラスメント等への対応について

**問** 市役所内で実施しているハラスメントアンケートの実施状況と内容、結果と対応について伺う。また、外部公益通報に関する市の制度について伺う。

**答（副市長）** 内部相談窓口に加え、さらに専門性の高い外部相談窓口も開設し周知している。

**答（総務部長）** 実態把握のためハラスメントの有無、対策等の内容で毎年実施している。結果は古河市衛生委員会に報告、審議し指針に反映している。外部公益通報を受けた場合、必要な調査を行い適切な処理を行う。



佐々木 英徳 議員



### 障がい者支援策について

**問** 視覚障がい者の多くの方は、主に音声や拡大文字によって情報を得ている。印刷物に音声コードを付けることで、視覚障がいのある方や小さい文字が見えづらい高齢者、日本語が読めない外国人の方にも音声で聞いて情報を伝えられる。音声コードの実施に向けての課題と所見を伺う。

**答（福祉部長）** 課題の一点目は

※SPコード…活字文書読み上げ装置で読む音声コード ※ユニボイスコード…携帯電話やスマートフォン・タブレット端末に対応した音声コード

音声コードの規格である。SPコード(※)とユニボイスコード(※)の二種類あるが、互換性がなく、それぞれに対応が必要となる。二点目は、利用率の低さである。SPコードは専用の機器が必要であり、ユニボイスコードはスマートフォンやタブレットを使用しなければならない。音声コードは、防災など重要な要素を含んでおり、関係機関と協力し、積極的な普及に努めたい。



### 奨学金返還支援制度について

**問** 奨学金返還支援制度は、奨

学金の返済に苦しんでいる若者の負担を軽減し、地方創生の観点から地域の担い手となる人材の確保や、若い世代の定住を目指すことができる。奨学金返還支援制度の導入に向けての課題と所見を伺う。

**答（企画政策部長）** 導入に向け、支援の対象要件を地域の実情に応じて検証する必要がある。要件を厳しくすると申請者が少なくなってしまうが、奨学金の返還に苦慮している方が多くいることも事実である。先進事例などを参考にしながら、導入に向けて研究、検証を行う。

**答（産業部長）** 企業の登録状況を踏まえ、制度の地元企業への周知を図り、労働力、雇用の確保に努めたい。



鶴見 久美子 議員



### 子どもの貧困について

**問** 子どもの貧困やひとり親世帯の貧困が進む中、学習の場の提供と子ども食堂などの居場所づくりにも積極的な関わりが必要である。子どもの貧困に対しての捉え方、日々の学習の習慣付けと生活の習慣付けについて、市の現状と今後の取り組み、課題について伺う。

**答（福祉部長）** 子どもの貧困に必要な支援は相談窓口、居場所

の充実と捉えコーディネーターを設置し相談体制を整備した。学習・生活習慣は、市の実情に合った支援の在り方を検討する。今後は、困窮世帯に食料品等を宅配する団体等の支援、官民協働の取り組みを充実させる。課題は学習生活支援等のNPO法人の活用で、調査を進めていく。

### 産業技術専門学院跡地について

**問** 産業技術専門学院（以下、産技専という）は、県立三和職業訓練所として、多くの卒業生を輩出してきた。現在は市の管理となり、跡地活用の検討をしている。跡地としての位置付けと今までの経過、今後の方向性と計画、また周辺の安全対策と市道の改善について伺う。

**答（企画政策部長）** 産技専跡地は、諸川周辺都市機能誘導区域になっている。平成29年3月に県から譲渡を受け、官民連携の事業化のため調査を実施した。民間企業の提案や意見を参考に活用方針案をまとめていく。

**答（都市建設部長）** 安全な道路環境のため西側、南側の一部に自転車・歩行者道路を整備した。

**答（教育部長）** 通学路安全推進会議で、危険箇所の対策を協議、学校安全ボランティアが登下校の見守り活動を行っている。



産業技術専門学院跡地



高橋 秀彰 議員



### 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

**問** 带状疱疹たいじょうほうしんがワクチン接種で予防できること等を市民に周知するとともに、市民の健康を守るためにも、自己負担が大きい带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成が必要と考えるがどうか。

**答 (市長)** 県市長会として国や県に定期接種化の要望を行っている。新しいワクチンの副反応に対する懸念も考慮し、正しい情報を市民に伝え、安全性が確

保される中で実施したい。

**答 (健康推進部長)** 予防接種等の情報は、市ホームページに掲載している。今後、国や県、他市町村の動向を考慮し、さらなる周知をしていきたい。



### 災害ケースマネジメントについて

**問** 災害ケースマネジメントは、被災者が抱える生活再建に向けたさまざまな課題を解決するために、関係者が連携し、支援を行う取り組みである。平時から

災害に備えることで、迅速に市民に対し必要な支援の手が差し伸べられ、被災者に寄り添った支援が実現できるよう、災害ケースマネジメントの体制構築が必要と考えるがどうか。

**答 (市長)** 平時からの支援体制は、重層的支援体制整備事業の中で民間事業所と連携している。さまざまな事業所との災害協定等により、あらゆる面から被災者支援体制を整えていきたい。

**答 (総務部長兼危機管理監)** 県の被災者生活再建支援システムで被災者の情報を一元的に把握できるようにしている。平時から災害対策図上訓練等の場で関係部局との連携を確認し、被災者対応について実効性の向上を図っている。



佐藤 稔 議員



### がん予防による経済的負担の軽減について

**問** 国立がんセンターは、がんが社会に与える経済的負担について年間約2兆8,600億円に上るが、そのうち約3分の1(約1兆円)は予防できるがんとしている。市民に予防できるがんについて、積極的な啓発活動を提案するが市の考えを伺う。

**答 (健康推進部長)** 検診の受診率向上のため、乳がん、子宮がん検診の無料クーポン券の送付や、

30歳対象の健康診査、がん検診の案内を通知している。精密検査未受診者には、保健師が再勧奨を行っている。今後も経済的な面と予防対策を併せ、普及啓発活動を継続していく。

### 自殺予防策として期待できる「ランプス」の導入について

**問** 10代20代の死因のトップが自殺である国は、先進7カ国で日本だけである。GIGAスクールで使われている1人1台のタブレット端末を用い、個人のリスクを把握するRAMPS(ランプス)の導入を提案するが市の考えを伺う。

**答 (市長)** 第4次自殺総合対策大綱にもある「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現

を目指して」女性、若者の自殺リスクを低減させる取り組みの推進強化をしていく。

**答 (福祉部長)** 自殺リスク評価ツールRAMPSは、児童生徒、若者が自分の状態を知ることができ、支援者にとっても早期に気づき支援につなぐことができる有効なツールと思われる。今後研究、検討を進めていきたい。



RAMPSのスタート画面  
(RAMPS公式サイトより)

### 《その他の質問》

- ・AED運搬システム「AED GO」の導入について



秋庭 繁 議員



### 市民の足（ぐるりん号、愛・あい号）のダイヤ改正について

**問** ぐるりん号のダイヤ改正で「利用できない、空気を運んでいる」などの意見が出されている。早急に改善を求める要望に対する今後の対応、スケジュールについて伺う。

**答（市民部長）** 要望が多かった南コースをはじめ、古河庁舎・福祉の森コース、北コースの運行本数や順路の見直しなどを、運行事業者とともに検討をして

※FM…ファシリティマネジメント（公共施設等の総合的な管理および活用に関する取り組み）

いる。改正時期は、年度内を目指している。

### 学校施設環境改善交付金の活用について

**問** 国の学校施設環境改善交付金を活用し、小中学校体育館の空調設備設置と教室の断熱化による教育環境改善について伺う。



暑い寒いを無くす快適な教育環境

**答（市長）** FM<sup>(※)</sup>の観点を含め、断熱性を確保したうえで、児童生徒の教育環境の側面と、避難所として利用する市民の快適性の両面から、引き続き有効な対

策について検討していきたい。

### 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応と、まちづくりについて

**問** ワクチン接種、市内の医療・老人施設などへの補助の継続、花火の実行委員会再開、盆踊りの継続など、疲弊した市内経済の活性化とにぎわいづくりについて伺う。

**答（市長）** ワクチンに対する補助等は、インフルエンザを含め、これまでも進めている。花火大会は、開催の時期、場所、内容等を検証、検討し実行委員会で中止を決定した。盆踊りは復活したいというご要望があれば、最大限支援したい。「市民力」が試される時代であり、古河市民には非常に大きな力がある。



古川 一美 議員



### 生涯現役社会に向けた高齢者施策について

**問** 高齢化がさらに進み、介護保険制度の持続可能性が今後の課題となる。健康寿命の延伸、社会参加の促進、就労支援の充実等が求められる。世の中のお役に立てること自体が幸福なことだと思う。与えられる側から与える側に転換し、できるだけ長く社会のお役に立ち、生きがいを感じられるような施策が必要になると考える。所見を伺う。

**答（市長）** 高齢者の皆さまが、住み慣れた地域で生きがいを持ち充実した毎日を過ごすためには、安心して暮らすことができる地域づくりが必要となる。古河市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定を進めており、協議の中で、健康寿命の延伸、就労支援、高齢者の社会参加、生涯学習の取り組みなど、高齢者の皆さまの生活を支える仕組みづくりを盛り込んでいきたい。



取手市・シニアのための相談窓口

### 人口減少対策について

**問** 人口減少の要因の一つに若者層の東京圏への流出が多いことが考えられる。早い段階で地元企業の魅力を知り、地元で働くイメージを持てるよう中学生を対象に、地元企業の出前授業や工場見学を行ってはどうか。

**答（産業部長）** 地元企業の魅力を知ってもらう取り組みとして、新たな事業を進めている。一つ目は、市内小学校4年生から6年生の保護者を対象とした市内の工場見学ツアーで、11月に実施する予定で関係機関と調整している。二つ目は、市内企業紹介のショート動画の作成、配信で、ハローワーク古河と連携し進めている。

## 常任委員会市内視察報告

各常任委員会では、事業の進捗状況や施設等の状況を把握し、議決機関としての適切な判断を行うと同時に、議員の資質向上のための研修的要素を併せ持つ市内視察を実施しました。

### ●総務常任委員会（9名）

**委員長** 小森谷 博之 **副委員長** 小林 登美子  
**委員** 阿久津 佳子、秋庭 繁、高橋 秀彰、佐藤 稔、青木 和夫、赤坂 育男、増田 悟  
**所管事務** 企画政策部、総務部、財政部、市民部（環境課および交通防犯課）、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に属する事項 他

**視察日** 8月4日（金）

**視察地** ①包括管理 古河事務所【公共施設包括管理業務】  
 ②A I活用の現状【IT活用推進事業】  
 ③古河市循環バス「ぐるりん号」【循環バス運行事業】  
 ④古河市消防団第5分団詰所【消防施設整備事業】



古河市循環バス「ぐるりん号」

### ●文教厚生常任委員会（8名）

**委員長** 鈴木 務 **副委員長** 印出 慎也  
**委員** 佐々木 英徳、関口 和男、古川 一美、稲葉 貴大、佐藤 泉、落合 康之  
**所管事務** 市民部（環境課および交通防犯課を除く）、福祉部、健康推進部および教育委員会の所管に属する事項

**視察日** 7月31日（月）

**視察地** ①上辺見保育所西側敷地  
 【子育て拠点施設西側民活導入支援事業】  
 ②古河市教育支援センター（はなももルームこが）  
 【心の相談等事業】  
 ③古河市隣保館【隣保館施設管理事業、隣保館運営事業】  
 ④健康講座「教えて、薬剤師さん！」  
 【市民向け講座の実施状況】



古河市教育支援センター  
（はなももルームこが）

### ●産業建設常任委員会（7名）

**委員長** 靄見 久美子 **副委員長** 立川 徹  
**委員** 佐々木 里加、鈴木 隆、園部 増治、渡邊 澄夫、黒川 輝男  
**所管事務** 産業部、都市建設部、上下水道部および農業委員会の所管に属する事項

**視察日** 8月2日（水）

**視察地** ①古河総合公園（古河公方公園）【総合公園整備事業】  
 ②思川浄水場【思川浄水場更新事業】  
 ③新4号国道アクセス道路（上大野・上片田）  
 【新4号国道アクセス道路整備事業】  
 ④プロロジスパーク古河4【企業立地推進事業】



プロロジスパーク古河4

## 議場コンサートを再開しました



まくらが歌謡楽団の皆さん



永塚音々さん

今定例会より、長らく中止していた議場コンサートを再開しました。次回は12月12日(火)午前10時からを予定しています。ぜひ議場をご覧ください。

### ◆◆◆ 令和5年 第4回定例会の会期予定 ◆◆◆

月 日	会 議	内 容
12月 5日(火)	本会議	開会、議案の説明
12月 6日(水)	休会	議案調査
12月 7日(木)	本会議	質疑、議案の委員会付託
12月 8日(金)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
12月11日(月)	常任委員会	文教厚生常任委員会
12月12日(火)	本会議	議場コンサート、一般質問
12月13日(水)	本会議	一般質問
12月14日(木)	本会議	一般質問
12月15日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

- 開催時間は午前10時です。
- 産業建設常任委員会の開催時間は午前10時15分です。
- 議場コンサートの開催時間は午前10時です。その後、午前11時より一般質問を予定しています。

※変更される場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

#### 議会の様子・会議録をみよう！

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。



議会中継



会議録

#### 第3回定例会の傍聴者数

本会議	38人
委員会	6人
(特別委員会含む)	
議場コンサート	15人
合計	59人
※傍聴者数は延べ人数	

#### ＜議員の辞職＞

令和5年10月2日付けで、佐々木里加議員が辞職しましたのでご報告します。

## 編集後記

10年余りの歳月を費やしましたが、市民の皆さまの負託を得て、市議会議員になることができました。この数カ月、想像よりもはるかに目まぐるしく、先輩議員や同期に遅れまいと奮闘の毎日です。

この議会だよりにつきましては、手に取って読んでいただける紙面づくりが重要と考えます。今後も市議会に興味を持っていただけるよう、より身近で親しみのある議会広報を目指します。

副委員長 関口 和男

#### 【議会だより編集委員会】

委員長	印出 慎也
副委員長	関口 和男
委員	立川 徹 小林登美子
	稲葉 貴大 薮見久美子

古河市議会事務局  
古河市長谷町 38 番 18 号  
☎ 0280-22-5111 (代)